

令和5年台風第6号による被害

暴風雨に伴う電柱倒壊や電線断線等により、県内広範囲において長時間にわたる停電が発生。
特に、他地域からの支援が得られにくい離島において、ライフラインに深刻な影響。



電柱破損の様子（渡嘉敷村）

台風第6号による停電被害概要

- 停電期間：8日間（8月1日～8月8日）
- 最大停電戸数：約22万戸（総戸数の約34%）
- 停電に伴う断水や通信障害も発生。

無電柱化推進計画の策定状況

本島地域・・・26自治体中8自治体
(約3割)

離島地域・・・15自治体中2自治体
(約1割)

※令和5年4月時点



無電柱化実施例
(宮古島市)

無電柱化に係る独自の高率補助適用

沖縄県内における無電柱化事業において、沖縄独自の高率補助を適用。

(道路管理者負担分について、

国費負担原則**5.5割**のところ、

沖縄県では8割（市町村事業）又は**9割（県事業）**

を国費により負担)

一般的な電線共同溝整備に係る費用分担



離島地域の無電柱化支援の前倒しや電線管理者への新たな支援とともに、自治体・電線管理者に対する無電柱化推進計画策定等における技術的助言を強力に推進することにより、沖縄の離島を中心とする無電柱化の加速化を図る。